

令和4年3月24日

報道関係者 各位

令和4年4月1日付島原市人事異動内示について

本日、令和4年4月1日付人事異動の内示を行いましたので、お知らせします。
その他、不明な点がありましたら、下記までお尋ねください。

今回の異動の対象職員数

	職員数
部長級	11人
部次長級	13人
課長級	17人
課長補佐級	25人
係長級	31人
一般職員	94人
計	191人

<市長コメント>

まず始めに、新型コロナウイルス感染症の収束はいまだ見通せない状況にあり、本市におきましても一日も早く安心して日常を送れる日々が戻るよう、引き続き感染症の予防と拡大防止に注力するとともに、社会経済活動の回復と発展に向けた対策に全力で取り組み、この難局を市民の皆様とともに乗り越えていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

さて、そのような中、令和4年度においては、このコロナ禍のピンチをチャンスに変え、コロナと上手につき合う、ウィズコロナ・アフターコロナの街「しまばら」を目指すほか、本市が抱えている諸課題へ対応するため、限られた予算と職員数の中ではありますが、関係部署が横断的に連携しながら施策を推進するため、職員個々の経験や個性を活かし、組織としての力が発揮できるよう、適材適所への人事配置といたしました。

異動の規模は、退職者を含めて、部長級11人、部次長級13人、課長級17人、課長補佐級25人、係長級31人、一般職員94人の合計191人となっております。

主な特徴としては、

1つ目に、新たな企業の立地や地場企業の事業拡充促進を行い、産業の振興と雇用の創出を図るとともに、国や関連する産業の最新の動向や産業の流れを身近で捉えるため、経済産業省へ職員の派遣を行います。

2つ目に、令和3年度の寄付額が10億円を超え、本市の自主財源確保に大きく寄与している「ふるさと納税」について、さらなる寄付額の増加に向けて、新たな返礼品の造成や物産の流通促進などの取り組みを強化するため、所管を現在のシティプロモーション課から商工振興課へ変更します。

3つ目に、令和6年度に迎える「島原城築城400年」に向け、商工観光部に職員を増員し、実施体制を強化します。

4つ目に、東日本大震災の被災地支援として、これまで継続して職員を派遣し人的支援を行ってきましたが、発生から11年が経過し、復興も進み、一定の役割を果たせたと判断し、令和3年度をもって派遣を終了することとしました。また、令和2年7月豪雨災害の被災地支援として、熊本県球磨村への派遣についても同様に派遣を終了します。

5つ目に、退職者18人の補充として、新規採用職員20人の適所への配置を行いました。

6つ目に、女性職員の部次長職及び課長補佐職への登用を行いました。

7つ目に、定年退職する職員の持つ豊富な経験と知識を活用し、職員の人材育成やワークライフ・バランスの向上にも務めるべく、定年退職職員を再任用し、適材適所へ配置します。

8つ目に、特定の行政課題などの対応に活用するため、行政部内では得難いような、専門的な知識経験や識見を有する民間企業経験者を任期付職員として採用します。

9つ目に、中堅・若手職員の人材育成を目的として、国土交通省など国への派遣を継続して行います。

最後に、長期在職職員の異動及び自己申告を考慮した適正配置を行いました。同じ部署に5年以上在籍した職員は、原則として人事異動の対象としました。

以上が、今回の人事異動についての主な特徴です。

なお、データが必要な場合は、秘書人事課人事班あてご連絡してください。



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：市長公室秘書人事課人事班 本田
電話：0957-62-8010
E-mail：jinji@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん